

学 校 経 営

佐世保市立大野中学校

校長 山口 一成

キャッチフレーズ：「すべては、子どもたちのために」 Advance（前進）

- ☆子どもを正面から受け入れ、愛して欲しい <「愛されている」という実感の欠如>
- ☆子どもを学校の主人公（中心）として考え、判断、行動して欲しい <自主性・主体性の育成>
- ☆子どもをしっかり理解し、寄り添い支え、向き合い続け、目線を合わせて欲しい <生徒の思い>
- ☆子どもの言葉にしっかりと耳を傾け、子どもの思いを理解して欲しい <生徒理解の充実>
- ☆子どもの「良さ」を認め、褒め、伸ばして欲しい <自己肯定感・自己有用感の育成>
- ☆子どもの「荒れ」の原因をよく見極めて欲しい <家庭環境の理解と生徒理解の確かな積み重ね>
- ☆保護者と積極的に連携を図って欲しい <保護者とも人間関係・信頼関係を確かなものに構築>

- * 「地域」と学校の関係性を大切にして欲しい 【地域があるからこそ学校が存在できる】
- * 「生徒」に寄り添い、支え、心から愛して欲しい 【自らの教師力や力量を写し出す鏡である】
- * 「生徒」を中心に保護者とのつながりを大事にして欲しい 【保護者の信頼こそが教師の生命線】
- * 初心に戻り、学校教育に携われることの素晴らしさを思い出して欲しい 【原点回帰】
- * 指導力の稚拙さを生徒の問題にすり替えないで欲しい 【力のない教師ほど生徒に原因を求める】
- * 一人だけで問題を抱え込まず、学校全体の問題として考えて欲しい 【教職員集団の連帯意識が大切】
- * どのような時も「報連相」を大事にして欲しい 【知らないでは済まされないのが学校です】
- * 「分からない」「知らない」ことは遠慮なく尋ねて欲しい 【「自ら学ぶ」ことの原点です】
- * 「できない」と決めつけしないで「やってみよう」の心がけを大事にして欲しい 【生徒のお手本に】
- * 常に、周囲への目配り、気配り、心配りをお互いに大事にして欲しい 【思いやりの基本です】

宣 誓 書

私は、ここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ、擁護することを誓います。

私は、地方自治の本旨を体するとともに、公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、一部の奉仕者たることを排し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを誓います。

（私たち公教育に携わる教育公務員の原点です。）

※生徒にとって、かけがえのない3年間の中学校生活です。

学校経営基本方針

佐世保市立大野中学校 校長 山口 一成

1 学校教育方針

教育基本法及び県・市の教育方針に基づき、地域社会の実態と生徒の心身の発達並びに特性をふまえ、視野の広い人間性豊かな心身共に調和の取れた生徒の育成を図ると共に、人間愛を基調とする学校教育を推進する。

- (1) 自主性を養い、学習意欲を高め、生涯学習の基礎を培う
- (2) 人格を尊重し、個性と創造を伸ばし、お互いが支えあう
- (3) 豊かな情操を培い、公德心を養い、誠意を持って実践する
- (4) 生命尊重の精神を高め、食育の推進と健康安全の徹底を図る

2 校 訓 【 至誠をもって 生涯を貫こう 】

3 学校教育目標

大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成

4 めざす生徒像

- ・自ら考え実行する生徒 : 自主自立の精神を涵養し、大きな志と真心を育てる
- ・思いやりのある生徒 : 豊かな心の育成を図り、相手意識を身に付けさせる
- ・心身を磨く生徒 : 困難に立ち向かい、向上心を持って積極的に取り組む

5 めざす学校像

- ・生き生きとして節度のある学校 : 立ち止まりあいさつ、挨拶3S、学習の5か条
- ・創造性豊かな学校 : 大野中学びのスタイル
- ・地域に信頼される学校 : ボランティア活動の推進、社会貢献活動の取組

6 めざす教師像

- ・生徒とともに学び、成長する教師 : 「自ら学ぶ」ことの大切さを共有 元気のある職員組織
- ・使命感に徹し、範を示す教師 : 「宣誓書」の内容を理解し、教育専門職としての矜持を
- ・感性を磨く教師 : 「豊かな感性」で、まずは自らの人間性を向上させる意識

7 教育の原点

- (1) 一人一人の子どもは「かけがえのない存在」である 《将来への希望、期待の存在である》
- (2) 「学校は生徒のため」に存在する 《生徒がいてくれるからこそ学校は存在できる》
キャッチフレーズ: 「すべては、子どもたちのために」 Advance (前進)
- (3) 教育における中心課題は、「心の教育」・「心を美しく育てる」ことである
- (4) 教師は、最大の「人的な環境」である
《教師の姿勢をみて生徒は育つ、生徒は教師の鏡である》
- (5) 夢を語る教師でありたい

8 創る学校【自校を自慢することができる学校の創造】

- (1) 特色ある学校 (本校独自の取組、学力充実、危機管理意識)
- (2) 地域とのふれあいを大切に作る学校 (地域に根ざした学校、開かれた学校づくり)
- (3) 秩序ある中で生き生きとした学校 (校訓の遵守、自主的・自律的な生徒会活動)
- (4) 教師と生徒・保護者間に信頼関係のある学校 (PTA活動、教育相談、授業参観、懇談会)
- (5) 生徒、教師及び保護者が共に伸びる学校 (教師と親との役割分担、協力・協同・協働)
- (6) 「生き抜く力」を育てる学校 (学校行事、授業改善、心を育む教育、部活動)

9 努力目標

- (1) 豊かな心の育成
 - ① ボランティア活動を通して、他者への思いやりや郷土愛を養う (青少年赤十字活動の推進)
 - ② 道徳教育の充実を図り、「自分自身をみつめる」精神を養う (ローテーション道徳の取組)
 - ③ 感性と表現力を磨き、相手の心を受け止める資質を育てる (相互理解・相手意識の育成)
 - ④ 年間を通じた人権・平和教育を通して、人権・平和の大切さを理解させる
 - ⑤ 思いやりの心を育み、他者を慈しみ、進んで奉仕ができる態度を養う (「チョボラポイント」)
 - ⑥ 認め・ほめる教育を通して、人間尊重の精神と認識の高揚に努める (自己肯定感、有用感)
- (2) 学習の創造と定着：「わかる授業」を根底に据えた授業改善 (自ら学ぶ楽しさ)
 - ① 学習規律の定着を図り、基本的な学習(自学自習)態度を育成する (学習の5か条)
 - ② 基礎・基本的内容の確実な定着を図り、学力の充実に努める
 - ③ 教材の工夫と授業改善に努め、わかる授業をめざす
 - ④ 1時間の授業を大切にすると共に、自ら学ぶ生徒の育成に努める
 - ⑤ 生徒理解に努め、一人一人の能力と意欲に応じた個別指導の充実に努める
 - ⑥ 朝読書の取組や家庭での読書啓発を通して、言語活動の充実に努める
 - ⑦ 課題解決に向かい主体的・創造的に取り組む総合的な学習の時間の実践に努める
 - ⑧ 夢の実現に向けた進路指導に努める (相談・情報公開及び提供と学力の充実)
- (3) 人権教育の推進
 - ① 無意識の中で使われている差別用語を見逃さず、正しい人権意識を育てる (日々の言葉遣い)
 - ② 共に支え合う集団づくり、決して差別を許さない心を育てる教育を推進する
 - ③ 男女共生教育を推進する (互いに認め合い、相互理解とよりよい人間関係づくりをめざす)
 - ④ 生活課題と結びついた授業の創造に努める (教科・領域等教育課程全域で取り組む人権教育)
 - ⑤ 小・中連携及び地域と連携した人権教育を推進する
- (4) 生徒指導の充実
 - ① 月別重点目標を設定して、基本的生活習慣の育成と定着を図る (生徒会活動との連携強化)
 - ② 学年学級経営を充実させ、生徒理解の視点に立ち、積極的な生徒指導を推進する (調査と相談)
 - ③ 自主・自律的な態度の育成をめざして、活発な生徒会活動を展開する
 - ④ 学校・家庭・地域・外部関係機関との連携を密にして指導にあたる (家庭との連携・協働)
- (5) 特別支援教育の充実：「個の特性に応じた教育支援」の充実 < インクルーシブ教育の推進 >
 - ① 支援の在り方について研修を深め、全職員で適切な対応に努める (個別の支援指導計画)
 - ② 保護者・外部関係機関との連携を図り、積極的な支援に努める
- (6) 健康で安全な生活の推進
 - ① 三度の食事の励行と給食指導の徹底に努める (食育の推進、規則正しい生活リズム)
 - ② 学校内外の安全指導を徹底し、健康・安全の保持増進に努める (危機回避能力の向上)
 - ③ 運動に親しませ、逞しい心身の育成を図る (基礎体力の向上)
 - ④ 文化活動に積極的に取り組ませ、心の健康を増進させる (芸術体験・全校コンクールの取組)
 - ⑤ 学校環境の美化と共に、施設設備の点検と保守改善を図る (学校園・掲示教育の充実)